

頑張れ「無言館」！！！！

宮原 豊 (9組)

去る12月4日の朝日新聞(夕刊)1面にかなりのスペースを割いて『無言館』を残したい」という記事が掲載されました。皆様ご存知のとおり、無言館は窪島誠一郎氏(現在79歳)が、1997年(平成9年)に上田市に開館した戦没画学生の作品を展示する美術館です。

私はここを何回か訪ねましたが、塩田平を見渡す前山寺近くの丘の上に建ち、開館後も戦没学生の遺族から次々と作品が寄せられ、今では約130人の600点を超える作品や遺品が展示され、全国から多くのファンが訪ねてくる「聖地」であります。ピークには年間12万人もの来館者があったものの年々減少し、昨年は2万8千人、今年は新型コロナウイルスの影響をもろに受け、昨年の半分にとどまっているそうです。公的支援を受けず、個人の寄付金と入館料(1人1000円)だけで運営しているの、今のままでは継続が厳しくなっているという内容です。

記事：<https://www.asahi.com/articles/ASND43VPVND2ULFA007.html>

私自身は窪島氏に直接会ったことはないのですが、無言館開館の数年前から窪島氏と美術館建設の計画のことを聞いていました。92年~95年にサンフランシスコに駐在中に交流のあったヒルトン・ホテル1階の日本レストランを経営していた成沢隆氏が窪島氏と知り合いで、その話を紹介してくれました。成沢氏は実は上田高校の先輩(61期)で、高校時代は野球部に所属していたそうです。一見、痩せているようで武道(空手か剣道か)をしていたような眼光鋭く筋骨の発達した体型の方でした。窪島氏と成沢氏の関係は詳しく知りません。無言館を塩田平に建設した理由も成沢氏から聞いたと思うのですが、記憶にありません。窪島氏取材してきた朝日新聞の宮地ゆう記者によれば、「80年代にたびたび訪ねたサンフランシスコで成沢氏に会った」と窪島氏から名前を聞いたことがあるそうです。

宮地記者は、今は東京本社勤務ですが、その前はサンフランシスコ支局長だったことからシリコンバレー関連のことで知人に紹介されていたので、今回の記事執筆の経緯などについて尋ねましたが、「窪島さんは、この一般財団法人の運営に国や県・市から公的資金を受けるとは、当面は出来るだけ多くの方の善意の寄付金や入場料収入でやっていきたいと考えているらしい」とのことです。幸いにも今回の記事に多くの方々から反響が寄せられたので、来館者や寄付金が増えることに結びつけば嬉しいとのことでした。

今では、上田市に存在する全国にファンが広がる地域の「文化財」でもある無言館を、このコロナ禍の状況下においては出来るだけ多くの地元の人に訪ねていただくことをお願いし、コロナ感染が一日も早く終息するように祈り、その時は必ず再訪します。

(2020年12月9日)